事例No.	2809
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	合同会社SAGAいくすと

事例区分	地域活性化

タグ	・移住定住 ・人材確保・育成 ・新たな政策手法の確立・活用

事例種類	人材確保・育成

事例内容・タイトル

官民連携による佐賀高校生アスリート寮の整備・運営

出典

令和５年度ふるさとづくり大賞事例集

ふるさとづくり大賞　団体表彰



官民連携による佐賀高校生アスリート寮の整備・運営

合同会社SAGA（さが）いくすと

DATA

事　例　名：官民連携による佐賀高校生アスリート寮の整備・運営
所　在　地：(事業所)佐賀県佐賀市神野東2-3-6
連　絡　先：(寮)佐賀県佐賀市天祐1丁目14-3
TEL 0952-60-2580
FAX 0952-60-2581
E-mail iqust@saga-iqust.co.jp
ホームページ：https://m.facebook.com/sagaiqust

取り組みの概要

九州電力は、佐賀県の県立高校に寮がなく、有望な高校生が寮のある県外の高校に進学していることを県との調整会議で聞き、使用されていなかった九州電力の社宅をリノベーションし、佐賀県の高校に通う生徒のためのアスリート寮として活用している。運営は、県内企業9社(九州電力含む)の出資による合同会社SAGAいくすとを立ち上げ、寮生活に必要な設備の保全・維持や、寮生への住居・食事の提供及び生活指導を行っている。

評価された点

●将来有望な青少年のための施設として有効活用している点を評価。
●九州電力のような大企業がいかに地域貢献するかは、今後の日本社会を考えた上で重要なポイントであり、他企業への模範として評価する意義がある。
●地元企業の地域貢献の好事例である。既存の物を再利用し県内高校生の流出防止、県外の高校生流入に寄与する取り組みであり、地域理解の促進も見られ、寄付金も増加している。安定的な寮運営体制の構築ができている点も評価。

取り組みのプロセス

取り組みを実施するに至った要因・背景や地域課題
その取り組みを実施するに至った要因・背景や地域課題について記載。

行政や外部からの支援
行政や外部からの支援などについて記載。

きっかけ　**2019年～**
・県立高校に寮がないため、優秀な生徒が県外の高校に流出するのを止めたい。

・県と九州電力との課題解決の会議で提案。

2020年～

九州電力の社宅をアスリート寮への活用が決定
・社宅をリノベーションし居室を整備。
・食堂、厨房棟を新設。

2021年1月

連携協定締結
・九州電力と県において、連携協定締結
スポーツに安心して取り組める
環境の整備　等。



2021年4月

「合同会社 SAGA いくすと」設立
・佐賀アスリート寮を運営するため、県内企業9社が合同会社設立し、県と連携協定締結。



2022年4月

アスリート寮オープン
・11校15競技　48名が入寮中。
・生活支援、食事の提供を実施 。



今後の展望
・安定的な寮運営を行い、県内外から県内高校への進学を支援していく。

受賞者のコメント

本寮は、佐賀県内外から佐賀県内の高校へ通う高校生アスリートがスポーツに打ち込めるよう安心で安全な居住空間を提供し、佐賀から世界へはばたくアスリートの成長をアシストすることを目的に開設し、現在は11校15競技、48名のアスリートが一つ屋根の下に集い、寮生活を通じてたくさんの友人たちと明朗な交友関係を結び、自らの志に向かって切磋琢磨しております。今後も官民連携により佐賀県が進める「SAGAスポーツピラミッド構想」の実現に貢献できるよう取り組んでまいります。